

道路のうつりかわり

湯川村は合併当時(昭和32年)、2つの国道が走っていました。勝常地区内を通る国道49号線は、むかしは越後街道とよばれていて、1953年(昭和28年)に国道に指定されました。笈川地区内を通る国道121号線は、むかしは米沢街道とよばれていて、同じく1953年に国道に指定されました。

下の表にあるように、1959年(昭和34年)に3つの県道が指定されてからは、急速に車の数がふえ、村道との交差点がきけんになったため、村道のはばを広げたり、安全のためのし設の設置が急がれました。そして、県道会津坂下～河東線、浜崎～高野～会津若松線が舗装されました。1970年(昭和45年)から村内を走る県道が舗装され、改良工事が大はばに進みました。

やがて121号線の交通がはげしくなり、混雑するようになったため、

昭和52年から塩川バイパス工事が始まり、60年に開通しました。

昭和63年には村道は167を数え舗装率は69.1%で県下一となりました。

○道路のうつりかわり

	路線名	指定年度
国道	49号	昭和28年2級国道 30年一級国道 40年一般国道
	121号	昭和28年2級国道 37年一級国道 40年一般国道
県道	会津坂下～塩川線	昭和34年
	熊ノ目～浜崎線	昭和34年
	浜崎～高野～会津若松線	昭和34年
主要地方道	会津坂下～河東線	昭和51年4月主要地方道 同11月県道



昭和60年塩川バイパス開通記念



主な道路(国道・県道)